

教授会議事録

日時：平成25年2月12日（火）14時4分から16時37分

場所：電気通信研究所大会議室

議事録の確認

平成25年1月8日（火）開催の定例教授会議事録について、承認した。

I. 報告事項

1. 学内外諸会議等報告

(1) 部局長連絡会議・教育研究評議会

議長から、1月15日開催の部局長連絡会議について、配布資料に基づき以下のとおり報告があった。

- ①中期計画の変更
- ②組織変更申請
- ③規程の制定
- ④「平成24年人事院勧告に伴う本学役職員の給与の取扱方針」の変更について
- ⑤教室系技術職員の全学的人事管理の在り方
- ⑥平成25年度東北大学祭の日程
- ⑦リエゾンオフィスの設置
- ⑧第9回（平成24年度）日本学術振興会賞の受賞者の決定
- ⑨平成25年度科学研究費助成事業－科研費－の公募
- ⑩「日本再生を牽引するセンター・オブ・イノベーション（COI）」に関する構想（報告）
- ⑪国際リニアコライダー
- ⑫広報課関係イベント
- ⑬東北大学校友会ネットワーク（仮称）運用ワーキンググループ
- ⑭教職員のための学生支援マニュアル
- ⑮Natureエディターによる論文執筆ワークショップの開催報告
- ⑯ミッションの再定義（途中経過）

(2) サイバーサイエンスセンター大規模科学計算システム全国共同利用会議

1月29日に開催されたサイバーサイエンスセンター大規模科学計算システム全国共同利用会議について、配布資料に基づき説明があった。

(3) 学生生活協議会

1月9日に開催された学生生活協議会について、盗難が5件、交通事故が3件、川内キャンパスにおいて屋上からの転落事故があったとの報告があった。

(4) 附属図書館商議会

1月25日に開催された附属図書館商議会について、配布資料に基づき説明があった。

(5) 国際高等研究教育機構運営審議会運営専門委員会

1月25日に開催された国際高等研究教育機構運営審議会運営専門委員会について、先端融合シナジー研究所と学際科学国際高等研究センターが統合して新しい組織になるとの報告があり、意見聴取をしたとの報告があった。

2. 運営会議等報告

(1) 将来計画委員会

議長から、1月28日に開催された将来計画委員会について、資料に基づき説明があった。

(2) 研究企画委員会

1月30日に開催された研究企画委員会について、資料に基づき説明があった。独創的研究支援プログラムについて、申請基準が高いと判断して申請しないことがないようにしてもらいたいとの説明があった。科研費申請率について、ミッションの再定義において文部科学省が提示している資料は、科研費を評価基準にしている部分があるので、本研究所としても積極的に対応していきたいとの報告があった。

(3) 安全衛生委員会

1月22日に開催された安全衛生委員会について以下のとおり報告があった。

①京都大学で爆発事故があり、学生が腰骨を骨折したこと。なお、腰骨の骨折というのは重篤なけがであるとのこと。

②時間外労働に関して、45時間を3ヶ月連続で超えた職員は6名、80時間を超えた職員は1名であったこと。

(4) 新棟建設検討委員会

1月25日に公聴会が開催され、特段の問題もなく無事終了したとの報告があった。

(5) ナノ・スピンの実験施設

ナノ・スピン総合研究等の共同利用スペースの公募について、2月22日(金)が締切となっているので、応募予定がある場合は、期日までに申込をお願いしたいとのアナウンスがあった。

(6) IIS 研究センター運営委員会

IIS 研究センター運営委員会について以下のとおり報告があった。

①仙台市からの補助であるが、震災復興に貢献している等の理由で平成25年度も継続して認められ、平成26年度についても認められる方向で進んでいること。

②本学の工学研究科が中心となって応募する予定である、地域資源等を活用した産学連携による国際科学イノベーション拠点整備事業について、応募する建物の中核的なサポート組織として入る予定であるとのこと。

(7) 寄附研究部門運営委員会

現在の寄附研究部門が来年度の4月末をもって終了となるので、取り纏め、成果の公表等について実施することを検討中であるとの報告があった。

3. 電気通信研究機構について

議長から、電気通信研究機構について、以下のとおり報告があった。

①3月25・26日に震災復興プロジェクトのシンポジウムを開催する予定であり、多くの方に参加していただきたい。

②フランステレコムと耐災害ICTのディスカッションを行うとのことで、4月1日にフランス、エジプト、東京、仙台の4会場でテレビ会議システムを用いて実施する予定であるとのこと。

4. 学際科学国際高等研究センターの今後について

議長から、学際科学国際高等研究センターの今後について、資料に基づき説明があった。新組織のたたき台については、前半部分が学際科学国際高等研究センターの設置目的であり、後半部分が先端融合シナジー

研究所となっているとの説明があった。また、新組織を1年で改組する予定であり、本研究所から、新たにポストを出す必要はないとの説明があった。何かある場合は、議長もしくは事務長に連絡願いたいとの報告があった。

WGとプロジェクトチームの構成員についてそれぞれ質問があり、議長から、WG構成員について回答があり、プロジェクトチームの構成員については、学内の研究所長、研究科長等15名程度で組織されているとの回答があった。

通研のポジションについて質問があり、議長から新組織となっても、学際センターと同じように、通研としてポストを確保しているとの回答があった。

通研が学際に供出しているポストは、非常に重要なので、WG等で再度確認してもらいたいとの意見があった。

今後の新組織のあり方について通研への協力依頼があり、議長からできる限りバックアップしていく旨の回答があった。

5. 共同利用・共同研究拠点の中間評価について

共同利用・共同研究拠点の中間評価について、配布資料に基づき説明があり、併せて協力依頼があった。博士号取得者数については、共同研究プロジェクトに関わって学位を取得した学生が多い方が評価としては良いので、指導教員の判断で、そのような学生の数を記入してもらいたいとの依頼があった。また、3月中に形にしたいのでそれまでに提出してもらいたいとの説明があった。

議長から、教職員に対して重ねて協力依頼があった。

6. その他

(1) 受託研究の受入について

議長から、配布資料に基づき報告があった。

(2) 民間等との共同研究の受入について

議長から、配布資料に基づき報告があった。

(3) 研究所等研究生の受入について

議長から、配布資料に基づき報告があった。

(4) 平成24年度補正予算案について

事務長から、配布資料に基づき報告があった。

(5) 教育研究設備の整備要望調べについて

東北大学の整備マスタープランの大部分が今回の補正予算で認められたので、見直しをすることとなりそうであるとの説明があった。その予備調査を通研として実施したいとの報告があり、併せて協力依頼があった。

II. 協議事項

1. 教育研究評議員の選出について

(1) 議長から、現教育研究評議員の所長就任に伴う辞職に伴う次期教育研究評議員の選出方法について、下記のとおり説明があり選挙を実施した。

①任期は前任者の残任期間であること。

②候補者は専任の教授であること。

③単記無記名投票による選挙を行い、過半数を得た者を当選者とすること。

- ④過半数を得た者がいない場合は、上位2名による決選投票を行うこと。
- ⑤決選投票の結果、同数の場合はくじ引きとすること。

(2) 1回目の投票の結果、教育研究評議員候補者（任期：平成25年4月1日～平成26年3月31日）を選出した。

2. 教員の任用について

議長から、配布資料に基づき教員の任用（新規）について提案があり、承認した。

3. 非常勤研究員の任用について

議長から、配布資料に基づき非常勤研究員の任用（継続・新規）について提案があり、承認した。

4. 平成25年度客員研究室・分野教員について

議長から、平成25年度客員研究室・分野教員について資料に基づき説明があり、承認した。

5. その他

(1) 東北大学電気通信研究所公開講座の企画案について

電気通信研究所公開講座の企画案について資料に基づき説明があり、承認した。

議長から、通研では今まで公開講座を実施したことがなかったが、これを機会にこのような取組が増えていくことを期待したいとの要望があった。

III. その他

(1) 平成25年度諸会議開催予定について

議長から、配布資料に基づき平成25年度諸会議等日程の説明があった。

(2) 片平南キャンパスの整備事業について

事務長から、片平南キャンパスの整備事業について配布資料に基づき以下のとおり説明があった。

- ①片平南キャンパスでは、通研新棟、耐災害 ICT センター、IT-21 センター改修の3つの工事が控えていること。
- ②通研新棟については、施工業者は未定であり、予定としては仮囲いで囲まれる予定であること。
- ③耐災害 ICT センターについても、施工業者は未定であること。
- ④所謂三角地帯については、平成26年2月に東北学院大学に更地にして引渡すこととなっていること。
- ⑤三角地帯中にある通研のライフラインに関する施設については、武道場を取壊してこちらに移転する予定であること。
- ⑥中央体育館についても若干の工事が予定されていること。
- ⑦環境流体研究棟に関しても工事が予定されていること。
- ⑧多数の工事等が予定されているので、施設部等とも協議の上スケジュールについては決定する予定であること。
- ⑨意見がある場合は、事務長または用度係までお知らせくださいとのこと。
- ⑩片平構内への入構手続きについて、現在行っているので、手続きをお願いしたいとのこと。その際、支払いに関しては、来年度より給与天引きが可能となったので、窓口払いは本部事務機構のみとなったこと。

(3) 電気・情報系最終講義のご案内

議長から、電気・情報系最終講義のご案内について、澤谷教授（平成25年3月1日13時～14時40分、101大講義室）の講義が実施されるので、学生、教職員に対して参加依頼があった。

(4) 共同プロジェクト発表会について

2月28日に開催予定の共同プロジェクト発表会について、資料に基づき説明があり、併せて教職員に対して参加依頼があった。

(5) 重点戦略支援プログラム RIEC-RLE (MIT) シンポジウムの開催報告

議長から、1月21、22日に開催された重点戦略支援プログラム RIEC-RLE (MIT) シンポジウムについて、凡そ100名の参加者があったとの報告があり、併せて関係各位に対して謝辞があった。

(6) Tohoku-Harvard Joint Workshop, New Directions in Materials for Nanoelectronics, Spintronics and Photonics について

1月15、16日に開催された標記について、73名の参加者があったとの報告があり、併せて関係各位に対して謝辞があった。

(7) 3rd CSIS International Symposium on Spintronics-based VLSIs について

1月31日、2月1日に開催された標記について、120名の参加者があったとの報告があり、併せて関係各位に対して謝辞があった。

(8) メディカル・バイオ国際シンポジウム開催について

3月7、8日に開催予定のメディカル・バイオ国際シンポジウムについて、資料に基づき説明があり、併せて参加依頼があった。

(9) Step-QI スクールワーキンググループからの報告

Step-QI スクールワーキンググループからの報告について、資料に基づき説明があり、併せて参加依頼があった。

(10) 饋還会について

3月1日午後6時30分からホテルメトロポリタン仙台にて饋還会による退職記念パーティーが開催される旨連絡があった。出欠については2月26日までにメールにて回答願いたいとの説明があった。

(11) 通研紹介ビデオについて

通研紹介ビデオについて4月撮影、5月納品のスケジュールで予定しているとの報告があった。なお、撮影に参加する教員への協力依頼があった。

(12) 平成24年度予算執行、ウェブ給与明細システムについて

事務長から、平成24年度予算執行について、設定した締切までに使用して頂きたいとの説明があり、学外、学内予算問わず可能な限り使い切ってもらいたいとの要望があった。

また、ウェブ給与明細システムについて、テスト運用を行っているので、本稼働に向けての協力依頼があった。

(13) 次回の開催について

平成25年3月12日(火) 14:00から開催することとした。

以上